



「不屈」NO.572 付録  
石川版 NO. 329  
2022年2月15日  
治安維持法犠牲者国家賠償  
要求同盟石川県本部  
〒920-0856  
石川県金沢市昭和町5-13  
石川県平和と労働会館2F  
国民救援会石川県本部気付  
TEL・FAX 076-262-3447

映画「わが青春つきるとも

—伊藤千代子の生涯—

制作発表・撮影終了報告・上映予告

記者会見が行われました。

映画「わが青春つきるとも 伊藤千代子の生涯」の製作発表記者会見が1月18日、都内のホールで行われ、プロデューサーで監督も務めた桂壮三郎、主演の井上百合子、共演の窪塚俊介、竹下景子らが登壇した。本作は、戦争反対などが「国賊」「非国民」扱いされた昭和初期の時代に、主権在民、侵略戦争反対、そして女性の地位向上を願う社会活動に生きた若き革命家・伊藤千代子の希望と苦難の生涯を描くもの。原作は藤田廣登「時代の証言者 伊藤千代子」で、脚本・監督補佐は宮負秀夫が手掛けた。



共感と感動呼ぶ作品に

監督・製作 桂 荘三郎

新年あけましておめでとつごうございます。

映画製作は、コロナパンデミックに晒されながらも各地の草の根の運動から激励と製作支援を受けて、監督として、「こころざし」を掲げて製作運動を推進してきました。

そして、今年2022年春、本作を支援した皆様の多大なご協力により、「こころ」に、映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯―が遂に誕生いたします。映画の誕生を千代子さんも天国から喜んでいらっしゃるでしょう。12月、千代子さんの獄中最後の手紙の撮影でクランクアップとなり、今年に入り編集と音入れのポストプロダクションを行い3月に完成の運びとなります。

映画は千代子の革命に生きた歴史的真相をリアリズムに描き、そして、わかりやすく明快な表現の形象を監督として心がけました。伊藤千代子役の井上百合子さんは今回が本格的な映画デビューとなり、井上さんは千代子さんによく学び、よく理解して取り組みたいと新人女優らしく果敢に千代子像を熱演してくれました。

さて、今日の日本社会は悪政が蔓延り、国民生活の苦難が著しく高まりつつあります。又、憲法と民主主義の危機も深刻さを増してきています。あの治安維持法の暗黒の時代に国民の幸せを願い、「こころざし」を掲げ社会を変えようという立ち上がった伊藤千代子の生涯は必ず現代に共感と感動を呼ぶことでしょう。本年はいかなる厳しい情勢も乗り越える上映運動を力強く進め全国的に成功させましょう。

「映画千代子石川の会」から

「映画千代子石川の会」は1月14日、運営委員会・事務局と賛同団体代表者会議を開きました。

民医連、新婦人、憲法会議、非核政府の会、国民救援会、日中友好協会、国賠同盟など8団体9名の参加で、映画製作・上映支援募金の集約状況や、全国の運動の状況を確認し今後の運動方針について意思統一しました。

全国状況では、12月1日の北海道苫小牧市での撮影で口ケが終了し、映画編集と音入れの段階に入りました。苫小牧市での口ケは、苫小牧市中央図書館が保管している、千代子が獄中で書いた最後の手紙4通をラストシーンで使用するための撮影でした。映画の完成は、予定どおり3月となります。

全国の上映運動に変更がありました。4月2日に東京銀座プロッサムホールで試写会を行い、当初6月からとしていた上映運動開始を早め4月15日から第1次上映運動を開始し、参議院選挙終了後に第2次上映運動に取り組むこととなりました。

これを受けて、石川の会では3月13日の知事選挙、市長選挙、4月24日の参議院補欠選挙終了後、金沢21世紀美術館シアターホールで、試写会を行うこととしました。試写会は5千円以上の募金者と呼びかけ人などを招待し、150人規模を予定します。

県下各地での上映会は、6月23日告示・7月10日投票が予定されている参議院議員選挙が終了した後、9月から11月にかけておよそ10か所の会場で上映会を開催することとしました。上映会場で映画鑑賞するには募金の有無にかかわらず、1

完成披露試写会

日時 4月22日(火)

会場 銀座プロッサムホール

●開場 13時

●舞台挨拶 13時30分

●上映開始 13時40分(上映時間2時間10分)

一般参加者 入場料

大人 1500円 大学生 1200円 高校生以下800円

◆銀座プロッサム(東京都中央区銀座2丁目15)

◆東京メトロ有楽町線新富町・日比谷線銀座駅

参加予約申し込み先・問い合わせ先 藤田廣登

FAX 04-7174-2028

2021年度署名開始 (6月1日から) 国会請願署名

の集約状況

2022年2月1日

個人署名	目標 3,000 筆	筆
到達	138	筆
団体署名	目標 250 筆	筆
到達	13	筆

枚千円の鑑賞協力券を購入して頂くこととなります。

募金の集約状況は、全国で500口に近づき、石川でも140万円を超える募金が寄せられています(1月末現在)。募金の目標である150万円まであと一歩のところまで到達しました。全国の会には6口を送金しましたので、1200人の鑑賞者に映画をみていただく権利を獲得しています。

募金を寄せていただいた方々は321件(うち25件は重複)です。市町別内訳は下記の表のようになっていきます。県内各地でも映画上映の実行委員会を立ち上げていただき多くの方々に鑑賞して頂く運動を進めていきたいと考えています。

また、「映画千代子石川の会」の会計予算についても検討を行い、募金と映画鑑賞・上映運動との会計処理は各々別の取り扱いで処理をすることとしました。

募金運動の現在収入額140万円のうち60万円を全国の会に送金し、チラシ印刷・通信費など諸経費に30万円ほど支出していますので、残りの50万円は映画鑑賞・上映運動の資金に充当することとなります。

◆「市町別募金件数内訳」

金沢市	215
白山市	15
野々市	6
能美市	3
小松市	13
加賀市	7
内灘町	3
津幡町	8
かほく市	7
宝達志水	3
羽咋市	13
志賀町	3
中能登町	4
七尾市	6
輪島市	10
能登町	1
珠洲市	4
合計	321

飯森博子（いいもりひろこ）さんが

県知事選挙への立候補を表明しました。（1月24日）



飯森さんは新日本婦人の会石川県本部会長であり、国賠同盟の国会請願署名にも積極的に協力いただいています。飯森さんの決意表明をご紹介します。

石川県知事選挙出馬にあたり、たくさんのお励ましとご声援をありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が拡大しています。コロナ禍の最前線で頑張っている多くの関係者のみなさまに心からの感謝を申し上げます。2022年3月13日投票の石川県知事選挙にあたり、「いのちとくらしを守る」とを大切にして、私は憲法を生かす新しい県政をつくる石川県民の会より石川県知事候補者として出馬することを決意いたしました。

コロナ感染拡大により、私たちの生活は大きく変わりました。コロナ禍の中、女性や子ども、ひとり親、非正規職

員、自営業者、高齢者など、多くの県民に生活の負担が大きいのしかかりました。今一度、「政治は何のためにあるのか？」「私たちの税金は誰のために使うのか？」毎日、一生懸命生きている方々がむくわれ、希望を持ち生きていける県政こそ今必要なのではないかと思ひ、県民の皆様の願いを県政に届けたく、知事選挙への立候補を決断いたしました。

私の決意の大きな柱は3点あります。第1は、新型コロナウイルス感染症対策の徹底、医療・公衆衛生体制の改善、県民のいのちと健康を守る事、第2は、コロナ禍のもとの経済そして県民の生活を守る事、第3は、石川の未来を見据え、子どもの医療費助成制度の県の制度の拡充と小学校・中学校での小人数学級の実現です。

36年間「私たちの願い」を自治体に届けて、私が今思うことは、どんな大きな石も誠実にあきらめないで声を上げ続けるならば、必ず動くという事です。

政治とは「石川県に住んでよかった」と一人ひとりが思えるようにすること。いのちを大切にし、地域経済と雇用を守り、「コロナ禍での厳しい生活への保障、医療・保健分野の強化、子ども医療費窓口無料化の拡充と小人数学級の実現、ジェンダー平等の実現、気候変動への緊急対策を強め再生可能エネルギーへの転換、小松基地の軍事力増強をやめさせ平和な石川県に！皆さんの一人ひとりの願いを声にして、形にして一緒に県政を変えていきたいと思ひます。がんばります！